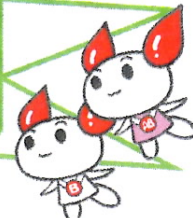


献血いただく前にご確認ください



1. 献血カードのご確認

献血カードをお持ちの方は、カードに印字された次回献血可能日をご確認ください。



2. 献血をご遠慮いただく場合についてのご確認

次の項目に該当される方は献血をご遠慮願います。(その他、医師の判断によりご遠慮いただく場合があります。)



①体調が悪い方



②当日飲酒されている方



③3日以内に出血を伴う
歯科治療(抜歯、歯石
除去等)を受けた方



④激しい嘔吐・下痢の方
(1か月以内に発熱を伴う
下痢があった方も含む)



⑤6か月以内にピアス・刺青をした方

※ピアスはピアッサーや医療機関で
あけた方は1か月経過後に局所の炎症が
なければ献血可能。



⑥海外から帰国(入国)して
4週間以内の方

※滞在期間は問いません。



⑦現在妊娠中、または出産後
から6ヶ月以内の方、授乳中
の場合は1年以内の方



⑧1980年～1996年
の間にイギリスに31日以
上滞在した方

※その他、海外に長期滞在した
方は滞在国により一定期間献
血できない場合があります。

⑨今までに大きな病気をした方

※原則としてB型肝炎、がん、血液疾患、心臓病、脳卒中、てんかん等。

ただし、治療後一定期間経過後に献血可能な場合があります。

⑩切り傷やひっかき傷等の外傷があり、化膿や炎症所見がある方

⑪今までに輸血(自己血を除く)や臓器移植を受けた方

⑫ヒト由来プラセンタ(胎盤)注射薬を使用したことがある方

⑬梅毒、C型肝炎、マラリアにかかったことがある方

⑭エイズ検査が目的の方

⑮6か月以内に次のいずれかに該当する方

- ・ 不特定の異性または新たな異性との性的接触があった方
- ・ 男性同士での性的接触があった方
- ・ 出産、流産があった方
- ・ 開胸、開腹、開頭等大手術を受けた方



⑯口内炎のある方

特に・・・

十分な睡眠と食事※を取ってからご協力いただきますようお願い
します。 ※2食続けて食事を抜かれた場合や極度に空腹状態にある場合は、献血をご遠慮いただく場合があります。

3. 薬の服用と献血できない期間についてのご確認

お薬には、種類や服用期間によって献血できる場合があります。献血の際には、お薬またはお薬手帳をお持ちください。下記には主なお薬を示しています。詳しくは検診医師または受付職員にお尋ね下さい。

(1) 当日服用していても献血できるお薬（ただし献血者の健康状態を考慮し、献血できない場合もある）

- ・ **降圧剤**（血圧が安定していれば複数剤の服用でも献血可能）
- ・ **抗アレルギー薬**（セレスタミンの服用等一部献血できない場合がある）
市販の花粉症・アレルギー性鼻炎薬、アレグラ、アレロック、ジルテック等は献血可能
- ・ **高脂血症治療薬**（エパデール、ロトリガ等を除く）
- ・ 胃腸薬（感染性下痢症のある場合を除く）
- ・ ビタミン薬（貧血治療薬、ビタミンKを除く）
- ・ ミネラル薬（貧血治療薬を除く）
- ・ 漢方薬（肝疾患、感冒、喘息等のために服薬している場合を除く）
- ・ 低用量ピル（女性ホルモン）
- ・ 下剤・市販緩下剤



(2) 前日までの服用であれば献血できるお薬

- ・ **風邪薬**（予防的服用であり、当日症状がない場合に限る）
- ・ **鎮痛消炎剤**（当日症状がない場合や、軽い頭痛・生理痛に服用した場合など）
- ・ **市販解熱鎮痛薬**（アスピリン、バファリン、ロキソニン、PL 顆粒等）
- ・ 痛風高尿酸値症治療薬（コルヒチン等一部献血できない場合がある）
- ・ 睡眠薬、抗不安剤、安定剤
- ・ 消炎酵素剤

不明な点がございましたら、
お気軽にお尋ねください！



(3) 服用中止から3日以上経過していれば献血できるお薬

- ・ 抗生剤
- ・ 抗ウイルス薬
- ・ 止痢薬（アドソルビン、タンアンルビン、トランコリン、フェベロリンA、ロペミン等）
- ・ ステロイド系抗アレルギー薬（セレスタミン、アプシラジン等）
- ・ 痛風発作薬（コルヒチン）
- ・ 喘息治療薬（発作時の $\beta 2$ 刺激薬、キサンチン誘導体等）
- ・ 向精神薬・抗うつ薬（抗不安剤、安定剤を除く）

(4) その他

- ・ 原疾患により献血できない対象薬物（糖尿病治療薬、狭心症治療薬、
抗不整脈薬、抗血栓薬、抗腫瘍薬、他）【治癒し、薬物不要となれば再検討】
- ・ チガソン（乾癬治療薬）【献血不可】
- ・ ラエンネック、メルスモン（ヒト由来プラセンタ）【献血不可】
- ・ プロペシア、プロスカール【1カ月献血不可】
- ・ アポダート、アポルプ【6カ月献血不可】



※その他にも皆様の健康状態を医師が総合的に判断し、献血をご遠慮いただく場合があります。

※予防注射も種類によって献血できない期間が異なります。

（インフルエンザワクチンは24時間経過後献血可能）

（はしか、風疹、B型肝炎ワクチンなどは4週間経過後献血可能）等